

大宮南ロータリークラブ週報

No.1131/第1589回例会(4.20)
(2011.4.26発行)

創立・昭和53年6月
例会日・毎週火曜日12:30~13:30
会場・サンパレス



会長 柴田 覚 副会長 堀 奉之・齊藤 博一 幹事 黒白 秀之
事務所・さいたま市大宮区下町2-51-8 コーポKEN406 ☎(048)645-0180 FAX(048)648-2188

Building Communities Bridging Continents

地域を育み、大陸をつなぐ

第1590回例会プログラム

12:30 開会点鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
会長挨拶及び報告
幹事報告
各委員長報告
ロータリー情報
出席報告
ニコニコボックス報告
13:30 閉会点鐘

大宮シティRCとの合同夜間例会

<ロータリーソング「手に手つないで」斉唱の後、
1年ぶりの再会を祝い互いに握手を交わす会場>

ビジター紹介

赤塚 信彦様 (アトリエヌードジュエリー代表)
シュレスタ・ラジャン・クマル君
(米山記念奨学生)
トゥットウさん (大宮シティRC・米山記念奨学生)

会長挨拶及び報告

永井 厚会長 (大宮シティRC)

本日卓話をお願いしました赤塚様は「世界を変える100人の日本人」の一人に選ばれた方です。カルティエとかティファニーなどのセレブパーティーで賞賛を浴びるジュエリーデ



ザイナーでいらっしゃいます。赤塚さんが使われる金箔は歯科の世界で昔使われておりました。接着剤を何も使わずに生体にとってもやさしい良い材料だと思えます。

今日の合同例会は、私の年度で起こった大震災について私たちがやっている事業をご説明したいと思います。5月3・4日で宮城県の南三陸町に行くことにしました。東日本大震災に対して地区に2回、グループには1回、合計50万円の義援金を送りました。理事会で親睦旅行の中止が決定され、別枠として日本赤十字を通さずに独自で300万円の義援金を現地に直接送りたいと思いました。大学時代の同級生で同業者に相談しましたところ、南三陸町が一番大変だと聞き、相手の地域のRCとの連携を考え左沼RCと連絡を取りました。そして数年では復興は無理だと考え、若い人たちに支援をしようとして高校に200人分のジャージを援助することになりました。現地に8人で行き炊き出しを行い、高澤会員の発案で最終的に200台位集まる自転車を持って行きたいと思えます。今年度だけではなく今後我々のできることをやっていきたいと思えます。千年に一度のこの震災に遭遇した我々ロータリアンは何をなすべきかと真剣に考え、次の時代を担う若い青少年に少しでも勇気と希望が与えられる、そんな支援をできればと思っております。

柴田 覚会長 (大宮南RC)

今回の震災に関しまして、特に岩手・宮城両県を地盤とします国際RC2520地区のロータリアンの方がたくさん被災され、亡くなられています。その地区では現在活動をストップしてい



る状況であり、日夜被災された方、亡くなった方の情報収集に努力されていると聞いております。震災の規模も大きく、地域も広範囲に渡っているということから、復旧・復興にはかなりの時間が要すると思います。我々も従来の奉仕活動にプラスして復興支援をしていかなければならないと思います。一つのクラブではできないこともいくつかのクラブと一緒に力を合わせてやれば大きなことができるのではないかと、そのきっかけを両クラブでスタートさせてみたらどうかと提案させていただきたいと思っております。私どもがスポンサーをしております大宮開成高校のIACがすぐに募金活動を始め、わずかの間に250万円募っております。ロータリーに関わる全ての組織を総動員して支援する体制を考えていきたいと思っております。

側面から大宮シティRCさんを見ておりますと、非常に長期的な展望で活動されていると考えさせられました。我々も良いところはどしどし学んで参りたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

卓 話

金箔工芸にジュエリーを

赤塚 信彦様

ゲストスピーカー紹介

染谷 道夫プログラム委員長 (大宮シティRC)

外見が今風、中身は古風な日本人。本年度の例会のテーマである“日本の伝統と文化”を学ぶのに相応しい方です。日本の金箔の技術を世界に広めたいという志をジュエリーに変えてしまった人、「世界を変える100人の日本人」の一人です。



私自身は昔からデザインの勉強をしていたのですが、伝統工芸品であるとか、自分が手を動かして何かをすることによって夢・やりがいを感じて今こうした活動をしております。

デザイナーとしての私のキャリアは今から15年位前です。それまではシンプルなロゴとか内装などを手がけながら、ひよんなことから趣味で始めたアクセサリーが今やこれ一本で仕事をしております。

ヌードジュエリーというのは世界で始めて素肌の上に直接作り上げるジュエリーのことで、素材は石川県の金沢で作られている金箔で、全て手打ちで純度が24金というものです。石川県は金箔工芸において日本のシェアの95%を誇る金箔の有名なところですが、しかし残念なことに全体の金箔の需要はだんだんなくなってきているのが現状です。そんな中で全く新しい金箔の使い方を考えたのがヌードジュエリーです。これをもって海外に売り込みに行っています。去年ドバイにある7つ星ホテル「ブルジュ・アル・アラブ」の18階で私のサービスが行えるようになったことが私たちにとって一番大きな自信になりました。

<ビデオによるヌードジュエリーの紹介>

私のキャリアはデザイナーから始まりましたが、自分の手を使って仕事をしたいという思いがあり、夜間学校でジュエリーの勉強を始めました。なぜジュエリーを選んだかという、自分の思ったものを頭から尻尾まで作ってみたいという気持ちがあり、40歳前に自分の資金で小さなブランドを作りました。その時の時代に助けられ、有名人や雑誌などに取り上げられ、25年前にデザインの勉強をしたイタリアで自分のデザインした商品が認められるか挑戦してみました。その時「VOGUE」という雑誌に取り上げられ、デビュー間もない自分がイタリアでビジネスを始めることができました。しかし会社運営のしかたにつまずき、高級市場において日本人が作ったジュエリーが高級品として扱われることはなく、規模が小さいので量産もできませんでした。偶然ファッションショーで私のジュエリーを使うことになり、アメリカのハリウッドで行われたもので、良さをアピールするために遠くから見てもインパクトのあるボディペイントを行うことにしました。そこで生まれたのがヌードジュエリーの原型です。

これからも国境であるとか言葉であるとか、世代を超えて通用する普遍的な美しさや笑顔というもの、日本のメイドインジャパンを世界に広める価値のある工芸品を使って作り上げていきたいと考えています。

◇本日の司会者◇ 佐々木 修SAA (大宮シティRC)

懇親会

赤塚様のご好意により、懇親会でヌードジュエリーを体験させていただく。

